

Week of January 11, 2026 - What Do You Love? Small Group Lesson 4

知り合う

子どもの頃（または大人になってからでも）、どうしても欲しくて「これさえあれば全部うまくいく！」と思っていた玩具や物は何ですか？ところが、今は、ほとんど覚えていないものはありますか？

なぜ私たちは、その時は「どうしても必要だ」と感じるのに、後になって「実はそうでもなかった」と気づくのでしょうか？

聖句　ヨハネの手紙一 2:12-17（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

12 子たちよ、あなたがたに書き送ります。／イエスの名によって／あなたがたの罪が赦されたということを。13 父たちよ、あなたがたに書き送ります。／あなたがたが初めからおられる方を／知っているということを。／若者たちよ、あなたがたに書き送ります。／あなたがたが悪い者に勝ったということを。14 子どもたちよ、あなたがたに書き送ります。／あなたがたが御父を知っているということを。／父たちよ、あなたがたに書き送ります。／あなたがたが、初めからおられる方を／知っているということを。／若者たちよ、あなたがたに書き送ります。／あなたがたが強く／神の言葉があなたがたの内にとどまり／あなたがたが悪い者に勝ったということを。15 世も世にあるものも、愛してはなりません。世を愛する人がいれば、御父の愛はその人の内にありません。16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、見栄を張った生活は、御父から出たものではなく、世から出たものだからです。17 世も、世の欲も、過ぎ去ります。しかし、神の御心を行う者は、永遠にとどまります。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. ヨハネは12節で「子たち」に呼びかけていますが、彼がその人たちに書いている具体的な理由は何ですか。また、ヨハネは何を伝えようとしているのでしょうか。

2. ヨハネは、彼らが強く、悪い者に打ち勝ったと言及していますが、その勝利の理由として、彼らのうちに何が「とどまっている」からでしょうか？（14節）

3. ヨハネは「この世」を三つの具体的な誘惑（気をそらすもの）に分けていますが、それは何でしょうか？（16節）

4. 「この世」と「神の御心を行う人」とが対比されていますが、それぞれの行き着く先（運命）はどうなるのでしょうか？（17節）

分かち合い

話し合い　その1

武牧師は、他人に対する自分の苛立ちが、実は神の義ではなく、自分自身のプライドから来ていたことに気づきました。QT（デボーション）の中で、自分の行動が神に喜ばれないものであったことを悟ったのです。

最近、あなたが怒りを感じた場面を思い出してみてください。その根本にあったのは、プライド（自分の思いどおりにしたい気持ち）でしたか？それとも欲（「欲しい」「こうなってほしい」という思い）でしたか？

神のことばが「あなたのうちにとどまる」とき、世的な罪悪感に動かされるのではなく、あなたの反応はどのように変えられるでしょうか？

話し合い　その2

ヨハネが挙げているそれぞれの段階（子たち、父たち、若い人たち、子どもたち）は、「福音中心の生き方」をどのように表しているでしょうか。

あなた自身は、その中のどの段階を見落としがちだと思いますか。
その真理をしっかり心にとどめることで、あなたにはどんな益があるでしょうか。

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。